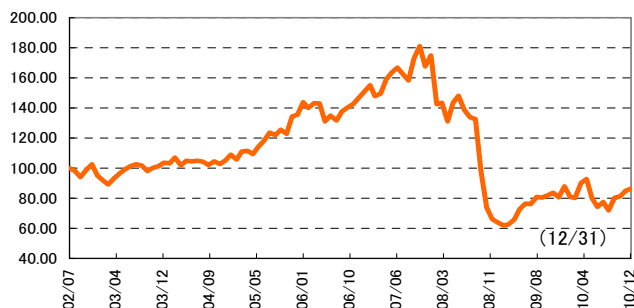


グローバル株式型

主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。
 MSCI WORLDインデックス(注)を上回る投資成果を目指します。
 (注) MSCI WORLDインデックスとは、MSCI Inc.が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの収益率

収益率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
グローバル株式型	2.02%	7.61%	16.38%	▲1.66%	▲50.54%	▲36.17%	▲13.58%
グローバル株式型 ※保険料係費用 控除前	2.16%	8.01%	17.19%	▲0.06%	▲45.73%	▲28.17%	▲0.10%

特別勘定資産内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
現金	56	0.5
預金		
投資	11,030	99.5
その他		
信託		
合計	11,087	100.0

グローバル成長株ファンド

【参考】主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:日興アセットマネジメント株式会社)

<基準価額の騰落率>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
グローバル成長株ファンド	2.16%	8.07%	17.41%	▲0.09%	▲48.34%	▲4.25%
MSCI ワールドインデックス	3.00%	5.03%	12.40%	▲3.92%	▲42.58%	▲6.04%

*当ファンドの設定日は2001年10月2日です。

<株式組入上位5ヵ国>

1 アメリカ	47.4%
2 イギリス	12.6%
3 香港	4.3%
4 日本	4.3%
5 ドイツ	4.0%

<株式組入上位10銘柄(銘柄数79)>

順位	銘柄	通貨	業種	比率
1	APPLE COMPUTER INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	3.2%
2	ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.9%
3	GENERAL ELECTRIC CO.	アメリカドル	資本財	1.9%
4	EMC CORP/MASS	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	1.8%
5	DAIMLER AG	ユーロ	自動車・自動車部品	1.8%
6	STANDARD CHARTERED PLC	イギリスポンド	銀行	1.7%
7	ANGLO AMERICAN PLC	イギリスポンド	素材	1.6%
8	XSTRATA PLC	イギリスポンド	素材	1.6%
9	BHP BILLITON PLC	イギリスポンド	素材	1.6%
10	LOWE'S COS INC	アメリカドル	小売	1.5%

<資産構成比>

1 国内株式(先物含む)	4.2%
2 外国株式(先物含む)	89.6%
3 CB	0.0%
4 公社債	0.0%
5 現金その他	6.2%

<運用コメント>

12月の米国市場は上昇基調となりました。上旬は、堅調な経済指標の発表が相次いだことに加え、オバマ大統領が大型減税の延長方針を示し、米国の景気回復期待が高まったことなどから上昇しました。その後、欧州の債務危機への懸念が高まり上値が重くなりましたが、下旬にかけては、企業の業績改善期待や金融業界のM&A(合併・買収)による再編への思惑も台頭したため、銀行株を中心に上昇幅を拡大し、主要株価指数は2008年秋の金融危機前の水準を回復しました。欧州市場も総じて上昇しました。上旬は、中国の堅調な経済指標を受けた商品相場の上昇や、米国で減税措置延長の方針が決定し景気回復期待が高まったことから、堅調に推移しました。中旬以降は、好調な米経済指標の発表が相場を支えましたが、大手格付会社による複数の欧州諸国に対する格下げ圧力が強まり、債務危機への懸念がくすぶり続けたため、上値の重い展開となりました。

このようななか、ボトムアップによる銘柄選択に基づき、エネルギーセクターの銘柄などを積み増した一方、生活必需品セクターの銘柄などを一部売却しました。エネルギーでは、米国の石油・ガス開発会社を新たに組み入れました。同社は、アフリカとブラジルにおける開発プロジェクトが成果を上げており、それらが同社の収益成長力を高めるものと見えています。生活必需品セクターでは、堅調な業績見通しとドイツ経済の回復を株価が織り込んだと見て、ドイツの小売販売大手を売却しました。

12月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは一般消費財・サービス、情報技術、資本財・サービス、対してアンダーウェイトとしているのはヘルスケア、生活必需品、金融です。

今後も銘柄選定ならびにセクター選定を重視し、世界のリーディングカンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

当資料に関する「ご注意いただきたい事項ー大切なことから」を5/5ページに掲載していますので必ずご参照ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。